



photo by bozzo

特集

劇場20周年記念プレ公演
伊藤キム ソロダンス作品
『病める舞姫』

— 2P-5P

ホワイエ 甲斐正人、藤岡道子

— 6P-7P

2021年1～3月公演スケジュール

— 10P-11P

劇場20周年記念プレ公演
京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム
『藪原検校』

— T-2P-T-5P



photo by bozzo

劇場20周年記念プレ公演

伊藤キム ソロダンス作品『病める舞姫』

2021年3月27日(土)、28日(日) 予定

会場：studio21

原作：土方巽

構成・演出・振付・出演：伊藤キム

●公演情報の詳細はスケジュール一覧(P.11)をご覧ください。

舞踏家・古川あんにゅに師事し、そのキャリアをスタートさせたダンサー・振付家、伊藤キム。

16年ぶりのソロダンス作品は、舞踏の始祖といわれる土方巽の著書『病める舞姫』をテキストに2018年に発表したものです。

コンテンポラリーダンスにおいて国内外で高い評価を与える伊藤キムが、「私にとって遠い祖先のようであり、何万光年も先にある不気味な光を放つ星でもある」と表す土方巽。土方の紡ぐ言葉が、伊藤キムを媒介とし、いまどのように私たちに届くのか。ぜひご覧ください。

(土方巽の『病める舞姫』という本は)

読んでみると、何が入っているのか分からない箱の中に

手を突っ込んでいる感じ。

グッと掴んで出してみてもなんだか分からない。

得体のしれないもの、という感じですよ。

——キムさんは舞踏家の古川あんずさんのところでスタートされたのでしたね。

そう。舞台に興味があったので、舞台に関係するアルバイトをしたくて新宿の劇場で働いたのですが、実はそこがストリップ劇場で。でも、そこでは舞踏やアングラ演劇の人たちもショーをしていて、その踊りを観て触発されて僕も舞台上で踊ったりするようになったんです。その様子を見ていたダンサーの一人が、古川あんずさんのワークショップ (WS) をすすめてくれて。それが1986年ぐらいかな。勅使川原三郎さんのWSもやっていたので両方受けて最終的にあんずさんのところに行ったんです。

——決め手は何だったのですか？

勅使川原さんのWSも面白かったのですが、あんずさんのダンスの考え方が僕に合ったんです。舞踏とはいわゆるドロドロとした観念的なものというイメージだったのですが、彼女はもっとクリアでドライで、ドロドロとした舞踏から距離を置いて、体のここをこうして、こう使うとこうなるんだという体の使い方が明快だったんです。

——その後、独立されて95年に「伊藤キム+輝く未来」というダンスカンパニーを作られるのですね。

あんずさんの所に3年間ぐらい居たのですが、その頃から、いつか自分のグループを作って世界中を回りたい

という目標があって。それで90年頃に独立して写真家や画家など色々な人たちとコラボレーションをしたり海外に行ったりして、その後WSを開いて、そこに集まったひとたちとカンパニーを作りました。〈輝く未来〉は「ポスト舞踏」と言っていました。当時、コンテンポラリーダンスという言葉は無く、舞踏ではありますが次世代のダンスのスタイルをめざしてやっていたので舞踏の次ということで。

——キムさんが土方巽さんにまつわる舞台を春秋座で上演されるのは2回目ですね。2005年6月に白井剛さんと踊られた『禁色』は記念碑的な作品で非常にインパクトが強かったです。

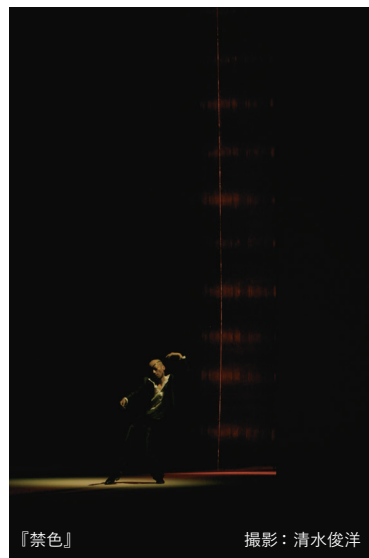
あの作品は世田谷パブリックシアターからお話をいただいて作ったんです。当時、ポスト舞踏ではなく、改めて舞踏にぐっと目を向けてみてもいいなと思って。

——ポスト舞踏を謳いながらも、いつか舞踏はやらなくてはと思っておられたのでしょうか。

常に思っているわけではないですが、足元を見ると「あ、俺舞踏の上に立っているんだ」と思うわけで。自分の表現の礎になっているのがあんずさんの舞踏なんですよ。そのことを普段は強く意識しないのですが、拠って立つ所はそこなので。そこを見つめるということをやろうと思いました。実際のダンスそのものは舞

踏的だったかというとは別ですけどね。舞踏というのは僕が僕自身を投入できる器のようなものだと思うのです。舞踏は人間の中のこぼれ落ちたものを拾い上げてくるような表現や普段見えない物を表に曝け出す表現が多いですが、自分の嫌な面、隠している面をしっかりと見るということは自分に向き合うということだと思うのです。それはダンスに限らず誰でもそうで、例えば問題にぶつかった時、一体、自分は何をやっているのだろうと自分に向き合って嫌なことをほじくり出す。そういうことを舞踏ではやっていて、それは人にとってすごく大事だと思うし、舞踏のその考え方に注目していいと思いました。

——その後、サバティカルで旅に出られるのですね。



『禁色』

撮影：清水俊洋

半年かけて世界一周してきました。ちょうど作品作りに行き詰りを感じていた時でリフレッシュして充電しようと思ったんです。中国から中央アジアを回ってヨーロッパ、アメリカから帰ってきたのですが、どちらかという発展途上国を中心に回りました。旅では貧困と宗教、歴史、生活、故郷—そういうようなことをひしひし感じました。中央アジアでは昼間から小さな子供が家族のために働き、道端ではおばあさんが座ってコインをもらっている。グルジアではタクシーの運転手さんが教会の前を通る時に運転をしながら十字を切り、モロッコのバスから窓の外を見ると砂漠に小さなカーペットを敷いて一人、お祈りをしている人がいる。日本では信じている宗教が無い人がほとんどですし、小さい頃に家族のために働いたり道端でコインをもらったりしている人も僕の身の回りにはいない。旅に出るとそういうのばかりで。なんて小さな世界に20年もいたんだ、自分は何にも知らなかったのだと、すごくショックで。ダンスなんてやっている場合じゃないなと思って。でも違う仕事をするのも違うし、ダンスをやっていくしかないと思い、それで若手がダンス作品を作る場を提供する新「輝く未来」を07年に作ったんです。それから世の中に目をむけて、ダンスの世界じゃない人、社会全般にかかわっていききたいなと強く思い、ダンスには縁のない人たちによる「おやじカフェ」をプロデュースしました。

—そして15年に「GERO」を作られますね。

このカンパニーは他とは少し違ってダンスだけでなく、言葉や声をよりフォーカスしています。僕自身、5、6年前から声楽の勉強を始めたこともあってセリフを使ったり今は即興合唱もします。

—今回上演されるのは、2018年に16年ぶりに創作されたソロ作品で、土方巽さんの『病める舞姫』を元にしたものですが、作品のキーは、言葉でしょうか。

久しぶりにソロダンスをやろうという意欲に繋がったのは結婚して子供ができたというのがありますね。だからもっと踊ってお金を稼がねばという動機があったんです。前回の『禁色』は三島由紀夫が書いた本ですが、『病める舞姫』は土方巽が書いたものなので、もっと舞踏に近い感じがします。読んでみると、何が入っているのか分からない箱の中に手をつっこんでいる感じ。グッと掴んで出してみてもなんだか分からない。得体の知れないもの、という感じですよ。ですから、これをどうしようではなく、本を読むことから始めてみよう。本があって、ページをめくってみる。書いてある言葉を読んでみる。声に出してみようというところから始めてみよう。それを解釈したり表現したりではなく、作品の入り口をそこにして、GEROで言葉についてやってきましたから、バラバラにして言葉遊び的に発展させていったり、ギターの弾き語りしたりと『病める舞姫』を伊藤キム流にぐいっと勝手に捻じ曲げて表現するというようなことを考えています。

—キムさんが依り代的、巫女的な存在として。

そう。伊藤キムという人物がシャーマン、巫女となって本を代弁するようなイメージがあります。作品の前半は言葉を使い、後半はダンスで展開します。そこで着替えをしてアイパッチを取ってカツラをかぶるんです。僕、舞台上でアイパッチを取るとは初めてで。

『病める舞姫』という作品が舞踏の象徴みたいなものですし、それに取組むとなったとき、いつもの伊藤

キムではないものがそこにはないといけないのではないか。では、伊藤キムじゃない人間って何だろうと思った時、伊藤キムたらしめるこのアイパッチを外せば、そうなるのかなと思って。舞台上伊藤キムでもなく土方巽でもなく別の人物が現れてくるのではないかなと思っています。

—最後に意気込みをお願いします。

表現に対する私のスタンスは「エンターテインメントと芸術を足して2で割る」です。どちらにも偏らない、どちらもある。土方巽や『病める舞姫』は、一般市民からは遠い存在ですが、伊藤キムというシャーマンがよりみなさんの身近に引き寄せる役割を果たしていると思います。お楽しみください。



伊藤キム

フィジカルシアターカンパニー
GERO 主宰。

87年舞踏家・古川あんに師事。
95年「伊藤キム+輝く未来」結成。
96年フランス・パニョレ国際振付賞、
02年第一回朝日舞台芸術賞・寺山修司賞、08年横浜文化賞奨励賞。
05年にバックパックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。おやじが踊って給仕する「おやじカフェ」のプロデュースを国内外で行う。15年新カンパニーGEROを結成して10年ぶりに創作活動を再開。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。かなっくホール（横浜市神奈川区民文化ホール）レジデンスアーティスト。

土方巽、異形の言葉『病める舞姫』がからだを揺さぶる

『病める舞姫』は舞踏家、土方巽が残した舞踏論とも、散文詩とも、エッセイとも言える言葉の束である。土方巽は暗黒舞踏を宣言し、1960年代半ばから舞台芸術のみならず美術、詩、思想にも衝撃的な影響を与えた人である。

それまでの舞踊のあり方を覆す舞台作品とともに、『病める舞姫』『美貌の青空』CD化された彼の肉声の言葉『慈悲心鳥がバサバサと骨の羽を拵けてくる』などの謎めいた言葉の世界は、現在でも解読されるように読まれ、研究され続けている。骨が途方も無い方向に揺れて行くような、入口も出口も無いような謎めいた言葉の渦が、次世代のからだを揺さぶるのだろうか。

最近では、土方巽の舞台を、あるいは彼の舞踏振付作品を観たことのない世代が『病める舞姫』のタイトルで、多様な形で作品化し上演をしている。これは、ある意味特異なことであると言えるだろう。

2009年、舞台芸術研究センターは、研究会「土方巽 言葉と身体をめ

ぐって」を企画し、研究者、舞踏家、それぞれの位置からあらためて土方巽の言葉、残された舞踏譜について語り考える場を持った。それは同タイトルにて舞台芸術研究センターから書籍として発行されている。再読してみると、読む者の思考を迷路に導くような土方巽の言葉と向かいあうことの重さを、あらためて感じる。当時、私自身が書いたものの一部を少し載せさせていただく。

『現代の日本のダンスが欧米の影響を多大に受けながら、習い事としてのダンスから舞台芸術としてのダンスに、社会的に様々な可能性を持った表現としてのダンスに発展し、市民権を得てくるなかで「穴」それも身を呈して覗きこまなくてはならない「穴」のような場所、それが土方巽の暗黒舞踏だった。

現在、土方自身の舞踏を、彼の作品を見ていない人がほとんどである。彼の足跡を辿ることができるのは、映像と残された言葉、『病める舞姫』をはじめとする数冊の書物で

ある。この僅かな手掛かりを頼りに土方が生み出したものがなんだったかを探りだし、伝えようとしている人達がいる。』

伊藤キムさんは、舞踏二世代と呼ばれる、古川あんずさんの元で舞踏を始め、その後、日本の新しいダンスのシーンを切り開いて来た方である。

縦横な意識の持ち主のキムさんが『病める舞姫』という作品を作ったという。

うむ、何故？今？

どのように、読むのか、いや読まないのか、はたまた意識の極北まで行くのか。

土方巽の『病める舞姫』から何を見つけ出したのか。

半世紀の年月を経た言葉がからだに、舞台にどのような形で出現するのか、楽しみにしたい。

山田せつ子

舞台芸術研究センター主任研究員
／舞踊家

土方巽 —言葉と身体をめぐって—

企画・編集：京都芸術大学 舞台芸術研究センター

責任編集：山田せつ子・八角聡仁・森山直人

舞台芸術研究センターで2009年6月～10年3月にかけて開催した公開研究会「土方巽研究会」（全3回）での活発な議論を踏まえ、参加者が新たに書き下ろした文章を中心に編集。舞踏だけでなく、日本の現代芸術全体に強烈なインパクトをあたえた土方巽（1928—86）の業績を、〈表現の現在〉へと接続するための新たな視点と可能性を探った書。公演の前後にぜひ、お読みください。

執筆者：安藤礼二、稲田奈緒美、宇野邦一、國吉和子、田中弘二、三浦基、三上賀代、森下隆、森山直人、八角聡仁、山田せつ子、渡邊守章

図版構成：「舞踏譜」スクラップブックより、「病める舞姫」加筆稿より

巻末に研究会記録、文献案内、公演年譜付き

こちらのサイトも合わせてお読みください。http://www.k-pac.org/performance/hijikata/



A5判 240頁 1,500円＋税

ご希望の方は舞台芸術研究センターまで
お問合せください。

狂言師・野村裕基

野村裕基君が狂言師として誕生したのは3歳の時。狂言の名作「靱猿」の子猿の役で初舞台を踏んだ。猿曳き（猿使い）が猿を連れて野原を歩いてゆくと横暴な大名に出会い、毛並みの良いその猿の毛皮をくれと難題を吹きかけられる。断れば射殺すぞと脅されて猿曳きは猿を殺そうとするが、何も知らない子猿はあどけなく猿曳きを見つめ…。この愁嘆場ののち大名ももらい泣きして和解となり、後半は猿曳きの謡う猿歌に合わせて子猿がリズムカルに舞って大団円。前半の緊迫と後半の祝祭で綴られる「靱猿」の40分余りを子猿は無心に猿の演技をし、舞いを舞う。着ぐるみを着、子猿の面をつけての40分は相当にハードで、狂言師となる第一歩の舞台とされている。

野村裕基君の「靱猿」の稽古始めから初舞台まではNHKのDVD「小さな狂言師の誕生」に記録されている。まだ右手も左手も区別がつかない裕基君。困る祖父万作師。厳しく叱る父萬斎師。泣く裕基君。大学での授業で何度もこの映像を鑑賞し、

稽古始めの裕基君が初舞台までの1年間に顔がまったく変わっていることに気づいた。「年少さん」の顔が狂言師の顔になっていく。

狂言の稽古メソッドのすごさである。有無を言わず一対一。祖父も父も、幼児裕基君も真剣勝負。野村家の稽古場はすごい。

高校をイギリスの学校で過ごした裕基君は帰国して18歳で次なる課題「三番叟」に挑む。祖父、父の最も得意とする能狂言の原点の舞。フランス、ピエールカルダン劇場での三代の「三番叟」競演はなんと裕基君が一番人気があったとか。日本でもWOWOWで放映された。

そして今年、20歳で「奈須与市語」に挑んだ。与市と義経、後藤兵衛、源平の軍兵たち、扇を掲げる平家の美少女、を語り分ける。生死的に向かう与市、そこには狂言師としての未来の成否がかかっている。裕基君の「奈須与市語」は微塵も妥協のない正確さで、しかもそれぞれの人物の人間味がにじみ出ているように感じた。ああ、役者なんだなと思った。

次は狂言修行の最終関門「釣狐」が控えている。この関門を出た祐基君をもう裕基君とは呼べないだろうな。



藤岡道子

能狂言研究者

1947年茨城県生まれ。お茶の水女子大学大学院人間文化研究科修了。京都聖母女子学院短期大学名誉教授。大学時代より野村万作に師事。専門は能狂言研究。著作に「野村梅子談笑録」（『美女のイメージ』所収。万作が母堂梅子の聞きとりをしたものを藤岡が女性史の視点からまとめたもの）、『岡家本江戸初期能型付』（京都の協方の名家、岡家伝来の貴重な能型付の翻刻と解説）等。近年は狂言古図の研究に取り組む。

CLIP

舞台芸術研究センター周辺で起こる、ホットな話題をお伝えします。

開学30周年記念事業

猿翁アーカイブにみる三代目市川猿之助の世界 第五回フォーラム〈感動〉

シークレットゲストに市川猿弥さんが登場！

三代目市川猿之助（二代目猿翁）さんから京都芸術大学（旧名称：京都造形芸術大学）に寄贈いただいた貴重な歌舞伎関係資料をもとに、三代目猿之助の軌跡をたどるフォーラムの5回目が2020年10月17日（土）、春秋座にて開催されました。今回のテーマ「感動」について横内謙介（脚本家、演出家）さん、石川耕士（脚本家、演出家）さんの講演が行われた後、シークレットゲストとして歌舞伎俳優の市川猿弥さんが舞台上に登場。満場の拍手で迎えられました。



昔妖精今は妖怪ならぬ今も妖精涼風真世

コロナが大きな脅威になって劇場が自粛する事に！我々の世界では考えられない事が起きました。約4ヶ月経ち本格的な公演が帝国劇場で8月に開催されました。「帝劇ミュージカルコンサート」です。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、その中でも抜群の存在感を示したのが涼風真世さんでした。『回転木馬』の「もしもあなたを愛したら」と『She loves me』の「バニラアイスクリーム」と繋がるメドレーでは、美しい愛の歌を切々と歌い上げた後に一転して、キュートな歌声から高音を駆使したカデンツァに至る難曲をいとも簡単に歌ってのけたのです。さらに「42nd street」では妖艶なブロードウェイの歌手に早変わりです。涼風さんの幅広い歌唱を堪能させてもらいました。思えば彼女との付き合いは長きに渡ります。1987年でしょうか、まだ初々しい涼風さんの宝塚でのショー『ジェームス・ディーン』の一場面からですから。颯爽としていてどこか哀愁のある名場面でした。そしてあの『PUCK』、彼女らしさを遺憾なく

発揮した名作です。その後退団されてからは『エリザベート』の2代目、この役は歴代誰も苦労する役です。その舞台稽古での彼女の言葉が忘れられない。「この役はスポーツをしているみたい(笑)」にこやかに言ったものでした。そして「丈夫な喉を下さった両親に感謝です」とも。その後“MA”『マリー・アントワネット』の初演のマリー・アントワネット役、『レベッカ』では亡きレベッカに異常なまでに思いを尽くすダンパース役で「レベッカ」を熱唱し、聴く者を陶醉させたのです。この素晴らしい歌唱力を持った涼風さんと来年は帝劇公演『モーツァルト！』で再会することを楽しみにしています。今回春秋座にてドリームコンサートを開催されるとの事、また新しい涼風真世の魅力を感じさせる舞台となる事でしょう。



甲斐正人

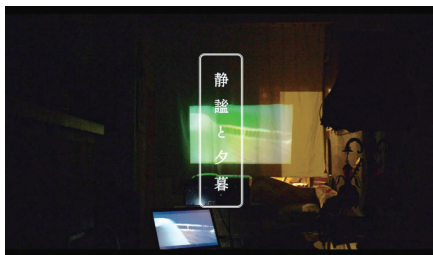
作曲家

東京芸術大学作曲科卒業。舞台音楽、ミュージカル音楽を手掛ける他、オリジナルミュージカルの製作など幅広く活動する。1984年度日本アカデミー賞最優秀音楽賞（映画「蒲田行進曲」）、2000年度読売演劇大賞最優秀スタッフ賞（『出島』、『エリザベート』）受賞。2017年度 菊田一夫演劇賞特別賞を受賞。

CLIP

元・学生スタッフ梅村和史さんが「サンパウロ国際映画祭」でノミネートされました！

京都芸術劇場では学生がお客様を案内するフロントスタッフや裏方の手伝いをするステージスタッフとして働いています。2019年度映画学科の卒業生でステージスタッフをつとめました梅村和史さんの卒業制作作品『静謐と夕暮』が「第44回サンパウロ国際映画祭」の「新人監督コンペティション」にノミネートされました。おめでとうございます！



INFORMATION

感染対策へのご協力を
お願いいたします。



手洗い・消毒、マスク着用など

当劇場の
感染症対策



2021年1月30日(土) 14:30

春秋座

劇場20周年記念プレ公演

涼風真世 & 京フィル ドリームコンサート in 春秋座

瓜生山に響く“妖精”の歌声

春秋座恒例のスターを招いて行う京フィルとのジョイントコンサートです。

元宝塚歌劇団トップスター涼風真世が、2014年に初お目見えし、2016年に続いて2021年1月、5年ぶり3度目のドリームコンサートを春秋座で開催します。

圧倒的な歌唱力で、なおも進化を遂げる涼風が、京フィルと共に魅惑のステージを繰り広げます。懐かしの宝塚やミュージカル、ポップスナンバーなど、選び抜かれた楽曲を京フィルの流麗な管弦楽でお楽しみください。

出演：涼風真世 指揮：牧村邦彦
演奏：京都フィルハーモニー室内合奏団

2021年1月22日(金)～1月24日(日)
各日 14:00

春秋座

劇場20周年記念プレ公演

第20回「春秋座」招待公演 兼
第55回 近畿高等学校演劇研究大会

演じる高校生

「演じる高校生」とは、春秋座のこけら落とし以来、毎年開催している高校演劇コンクール近畿大会の優秀校2校を春秋座に招待し、本格的な舞台上で作品を上演する企画です。

今年度は、延期された近畿高等学校演劇研究大会を兼ね、近畿2府4県（京都、大阪、兵庫、滋賀、奈良、和歌山）の代表校6校が上演します。その中から全国大会へ出場する2校が決定されます。

2019年度の出演校



高校演劇コンクール近畿大会最優秀賞
洛星高等学校（京都）『とりでのむこう』
脚本：寺腰玄（生徒制作）



優秀賞
大谷高等学校（大阪）『じみふる』
作：桑原日和・高杉学（生徒顧問創作）

2021年2月6日(土) 14:00

春秋座

劇場20周年記念プレ公演

春秋座—能と狂言

12回目を数える今回は、世阿弥の名作『砧』と、狂言の人気演目で「万作・狂言十八選」のひとつでもある『舟渡聲』をお届けします。歌舞伎劇場の空間で上演する能狂言の世界、どうぞお楽しみに。

※プレトークはございません。

能『砧』(きぬた)

出演：観世鍔之丞、森常好、片山九郎右衛門 他

狂言『舟渡聲』(ふなわたしむこ)

出演：野村万作、野村裕基 他



『砧』 撮影：吉越研



『舟渡聲』 撮影：清水俊洋

KYOTO EXPERIMENT

京都国際舞台芸術祭 2021

SPRING



KYOTO EXPERIMENT

会期 | 2021年2月3日(水)～3月28日(日)

会場 | 京都芸術劇場 春秋座、ロームシアター京都、
京都芸術センター、他

2010年にスタートし、毎年国内外の実験的で多様な作品やアーティストを紹介してきた国際舞台芸術祭。

11回目を数える今回は、3名の新しい共同ディレクター(川崎陽子、塚原悠也、ジュリエット・礼子・ナップ)のもと、エクスペリメント(=実験的)なプログラムを開催します。

プログラムの発表は12月15日(火)を予定しています。

主催 | 京都国際舞台芸術祭実行委員会

[京都市、ロームシアター京都(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)、京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)、京都芸術大学 舞台芸術研究センター]

「京舞と狂言」動画配信中!

京都芸術大学出身である狂言の茂山忠三郎、京舞の井上安寿子により2019年度からスタートした連続企画「京舞と狂言」。京都の地で伝承され、独自の文化を育んでいる「狂言」と「京舞」。異種芸能でありながら両者が共通に持っているテーマを取り上げ、比較上演する公演です。2020年度の公演は残念ながら中止となりましたが、2021、22年度の上演を予定しています。この度、2021年度の次回上演にむけ、お二人の楽しいおしゃべりや昨年の舞台の模様などをYouTube「京都芸術劇場 channel」でご紹介。これを観れば2021年度の公演がより楽しくなる内容です。ぜひ、ご覧になって来年度の公演にお越しください!



1 16日(土) 13:00/18:00 春秋座
17日(日) 11:00/15:30 (各日2回公演)
授業発表公演 舞台芸術学科12期 わかぎクラス
『種をまく人』

中旬予定 studio21
卒業制作公演 地獄谷温泉印
『太陽の国』
学生公演の詳細は決まり次第、劇場 HP に掲載いたします。

2 会期：2021年2月3日(水)～3月28日(日) 春秋座
KYOTO EXPERIMENT 詳細▶P.9
京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING

詳細は12月15日(火)以降、劇場HPに掲載いたします。

1 30日(土) 14:30 春秋座
劇場20周年記念プレ公演 詳細▶P.8
涼風真世&京フィル
ドリームコンサート in 春秋座

全席指定・発売中
一般 6500円 友の会 6000円
学生&ユース 3000円 (座席範囲指定)
※未就学児童の入場はご遠慮ください。
託児サービス 申込期間：～1月22日(金)17:00

T-C OTS e+ ぴあ 生協 京フィル

2 6日(土) 14:00 春秋座
劇場20周年記念プレ公演 詳細▶P.9
春秋座一能と狂言

全席指定・発売中
一階席 一般 7000円 友の会 6500円
二階席 一般 6000円 友の会 5500円
学生&ユース 2500円 (座席範囲指定)
※未就学児童の入場はご遠慮ください。
託児サービス 申込期間：～1月29日(金)17:00

T-C OTS e+ ぴあ 生協

1 22日(金)～1月24日(日) 14:00 春秋座
劇場20周年記念プレ公演 詳細▶P.8
第20回「春秋座」招待公演 兼
第55回 近畿高等学校演劇研究大会
演じる高校生

申込制(無料・全席指定)
お申込み方法の詳細は劇場 HP をご覧ください。

2 中旬予定 春秋座
劇場実験
村川拓也『事件』(仮)

村川拓也の新作に向けた劇場実験。京都市のスーパーで実際に起きた事件を題材に私たちの「日常性」を問う。

料金 無料
詳細が決まりしだい共同利用・共同研究拠点HPに掲載いたします。
<http://www.k-pac.org/kyoten/>

チケットお問合せ先

京都芸術劇場チケットセンター

tel.075-791-8240 営業：平日10:00-17:00・公演開催日は営業時間を変更する場合があります。詳しくは劇場 HP でご確認ください。

京都芸術大学 舞台芸術研究センター

京都芸術劇場 春秋座・studio21

606-8271 京都市左京区北白川瓜生山 2-116

tel.075-791-9207 fax.075-791-9438

E-mail. k-pac@kua.kyoto-art.ac.jp

<http://www.k-pac.org>

京都芸術劇場

検索



京都芸術劇場友の会 会員募集中! 詳しくは劇場 HP へ

T-C 京都芸術劇場チケットセンター OTS 劇場オンラインチケットストア

e+ イープラスー <https://eplus.jp>

ぴあ チケットぴあー <https://t.pia.jp> tel.0570-02-9999

生協 京都、滋賀各大学生協プレイガイド

京フィル 京フィルチケットセンター tel.075-212-8744 (平日10-19時)

*記載のないものについての開場は開演 45 分前

*特に表記のない場合、前売と当日は同じ料金

*ユースは 25 歳以下対象 (一部公演を除く)

*学生・ユースは要身分証明書提示、チケットは京都芸術劇場チケットセンター、劇場オンラインチケットストア、大学生協のみ取扱い

託児サービス 料金：お子様 1 名に付き 1500 円 対象：生後 6 ヶ月以上 7 歳未満

予約・お問合せ：京都芸術大学舞台芸術研究センター

Tel:075-791-9207 (平日 10-17 時)

カーテンコール

来年度は京都芸術劇場が開場してから 20 周年になります。年明けからプレ公演を多数ご用意し、みなさまのお越しをお待ちしております。[S]

3 18日(木) 18:00、19日(金) 13:00、
20日(土) 12:30/18:00、21日(日) 13:00

春秋座
特集▶P.T・2

劇場20周年記念プレ公演
京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム

『藪原検校』

全席指定(発売日未定)
一般 13000円 友の会 11000円
学生&ユース(席数限定) 6000円
※未就学児童の入場はご遠慮ください。

3 27日(土)、28日(日) 予定

studio21
特集▶P.2

劇場20周年記念プレ公演
伊藤キムソロダンス公演

病める舞姫

発売日 2021年2月上旬
チケット代金未定

T-C OTS

2021年度前期 公開連続講座 「日本芸能史」～型と創造

日本の伝統芸能・芸道はすべて型を持つ。型は、芸能・芸道の演技・演出の細部にまで行き渡る定められた手順である。型を持つのは、祭りを母胎として誕生したからである。型は、《カミ》つまり普遍的価値、宇宙の生命へ通じる通路である。部分を表現する型に《カミ》が宿る。そこには、部分にそれぞれの神がやどっているという日本人の多神教の信仰が生きている。

型は創造の場である。型を守るとは、そこに降臨する新しい《カミ》即ち新しい価値と生命を生む覚悟を持って努力することである。「一期一会」〈千利休〉、「文台引き下ろせば反故」〈芭蕉〉などの先人のことばにはその必死の覚悟が表現されている。先人の努力の結晶が型である。型には人類の可能性がある。

講師：

諏訪春雄、奥村旭翠、片岡一郎、池坊専好、
藤間勘十郎、森川裕之、梅若実玄祥、野村万作、
田口章子、山村友五郎、天野文雄、壬生大念佛講 他



毎 回：月曜日 15:10～16:30 予定 (ロビー・客席開場 14:40)
前 期(全14回) 2021年4月12日～7月19日
受講料：1万5千円
会 場：京都芸術劇場 春秋座 (京都芸術大学内)

【お問合せ・資料請求先】

京都芸術劇場チケットセンター tel.075-791-8240

アクセス

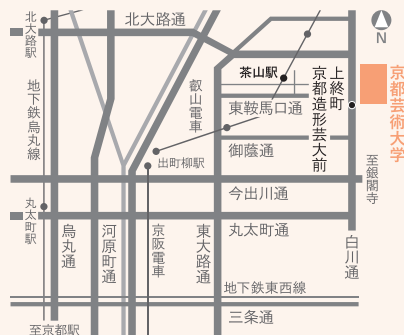
- JR・近鉄「京都」駅、京阪「三条」駅、阪急「京都河原町」駅から
京都市バス5系統「岩倉」行きに乗車、「上終町京都造形芸大前」下車
(「京都」駅から約50分、「三条」・「京都河原町」駅から約30分)
- 京都市営地下鉄「丸太町」・「北大路」駅(北大路バスターミナル)から
京都市バス204系統循環「高野・銀閣寺」行きに乗車、
「上終町京都造形芸大前」下車(約15分)
- 京阪電車「出町柳」駅から叡山電車に乗り換え、「茶山」駅下車、徒歩約10分
- タクシーご利用の場合、「京都」駅から約30分。地下鉄「今出川」駅から約15分
(「京都」～「今出川」は地下鉄で約10分)

※所要時間はあくまで参考としての標準時間です。天候や交通事情により変わりますのでご注意ください。
※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はご遠慮ください。

発行日—2020年12月1日

発行/編集—京都芸術大学 舞台芸術研究センター
デザイン…吉羽 一之 (Simple Hope Design Room)

京都芸術劇場ニュースレター vol.48





京
都
芸
術
劇
場
ニ
ュ
ー
ス
レ
タ
ー

shunjuza
studio21
Newsletter

特
集

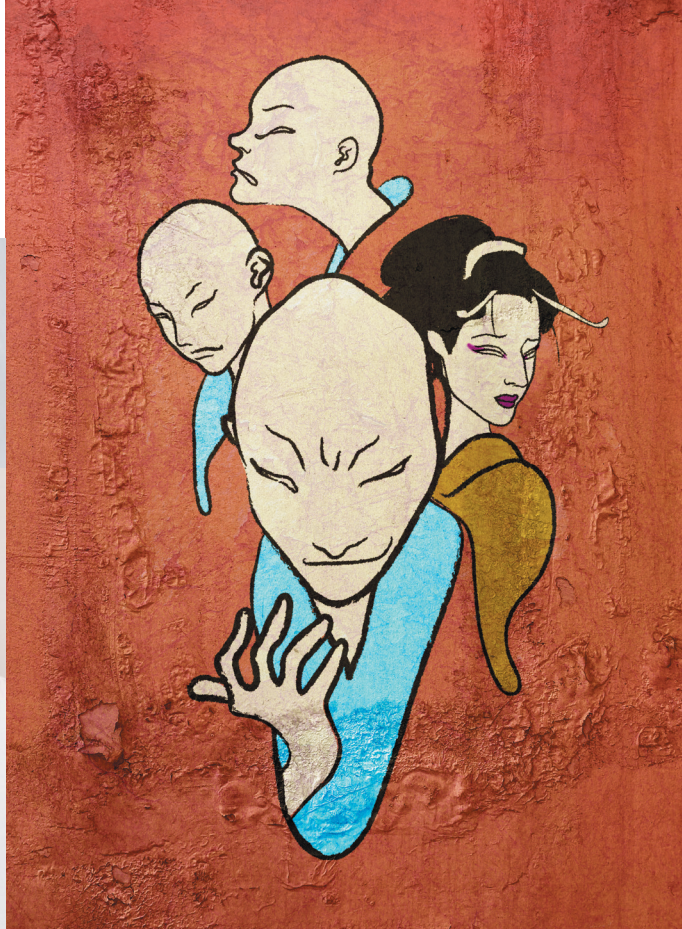
劇場20周年記念プレ公演 伊藤キムソロダンス作品
『病める舞姫』

劇場20周年記念プレ公演 京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム
『藪原検校』

2P
5P

T・2P
T・5P

vol.
48
2020.12



PARCO THEATER
OPENING SERIES

『藪原検校』

【劇場20周年記念プレ公演】
京都芸術劇場 春秋座 芸術監督プログラム

落語や講談、歌舞伎でも描かれてきた本作品は、劇作家・井上ひさしの傑作戯曲により様々な出演者と演出家により上演が重ねられてきました。稀代の大悪党と何れ劣らぬ悪党どもが織り成す物語を新生PARCO劇場オープニング・シリーズとして上演いたします。本公演の主演には市川猿之助、演出に杉原邦生という布陣で挑みます。そんな次世代を担う才能たちによる新たな『藪原検校』が当劇場にもやってまいります。どうぞご期待ください。学生の中から猿之助さんとも交流の深い杉原邦生さんに、今回の演出への意気込みや、猿之助さんをはじめ共演の皆さんについてお話をうかがいました。

3月18日(木) 18:00、19日(金) 13:00、
20日(土) 12:30/18:00、21日(日) 13:00

会場：春秋座

作：井上ひさし

演出：杉原邦生

音楽・演奏：益田トッシュ

出演：市川猿之助、三宅健、松雪泰子、高橋洋、佐藤誓、宮地雅子、
松永玲子、立花香織、みのすけ/川平慈英

●公演情報の詳細はスケジュール一覧〈P.11〉をご覧ください。

演出家・杉原邦生さんインタビュー

——『グリークス』や『三人吉三』など今まで春秋座で上演した作品もそうでしたが、今回も悪人や人間の負の部分を持つ登場人物が多いですね。今のこの時代に人間の負の部分を出す作品を上演する意味について、どうお考えですか。

今の日本は都合の悪い物・汚い物・隠したい事をうやむやにし無かったことにして、外面だけクリーンで美しい国・都市にしておもうとしている気がします。知らなくていい事は知らなくていい、見なくていい、「盲人でいろ」と権力から言われている気すらします。そういう時代に、主人公である盲人・杉の市が手段を選ばず金と権力と地位を得るために社会に抗って生きていく話はとてもアクチュアリテイがあるなど感じています。

行動はかなり残酷ですが、完全なる悪人ともいえない部分があるのではないかなと。杉の市には、得られなかった母親の愛情や、社会から虐げられてきたことから生まれる反骨精神、反発心に加え、見ええない目の奥には希望がある気がします。だからこそ深い哀しみ、絶望から立ち上がっていった。社会に対して希望を捨てない盲人、杉の市みたいな人は江戸時代にも現代の日本にもたくさんいると思うし、そうであってほしいと思うんです。それが今、上演する意義や意味だと感じています。ですから、悪人がただ残酷な死に方をしているのではなく、そこに希望がきちんと見えてくる形で上演できたらいいなと思っています。

——（そういった中で）演出として乗り越えるべき山となりそうな部分はどこになりそうですか。

『敦原検校』は西武劇場（現・パルコ劇場）のオーピング記念として、木村光一さん演出で上演された伝説の舞台であり、その後には栗山民也さん、蛭川幸雄さんといった演劇界の重鎮が演出してきた傑作です。で、それを僕がやる責任、プレッシャーは少なからずあります。ですが、僕が今の時代に演出するからには『敦原検校』という作品の新しい魅力をきちんと提示したいし、提示しなければ上演する意味がないと思っています。ですから演出的な僕の考え、姿勢も同時に見えてくる形で上演したいです。

井上ひさしさんの戯曲は言葉が力強く、台本として完成されているので、その「本の面白さ」を最大限に生かしながら、僕たちのカラーで今の『敦原検校』を作りたいと思います。それがやりたいことであり、匙加減が難しいところでもあるかなと思います。

—— 今までの演出では狂言回しとなる語り部とギター奏者が話を展開しましたが、今回はいかがですか。

ト書きに書いてあることは踏襲しつつ、音楽はすべて新曲にしたいと思っています。音楽を担当して下さる益田トッシュさんとは何回か打ち合わせをしていますが、打ち合わせ場所に着いた途端に、最近は何を聴いているかという情報交換から始まるんです。僕もトッシュさんも流行っている音楽に敏感なところがあって、世代も近いですし、興味があるものも似ている話がいやすいですね。今、何曲かデモ音源が上がっていますが、ヒップホップテイストなものがあったりちょっとぶっ飛んだ遊びも入れてくださるので、どんな風に音の世界を作ってくださいなのか、とても楽しみです。

舞台美術もト書きには抽象的な舞台が指定されているのですが、僕は渋谷のビルの隙間にある空き地のような空間をイメージしています。この話は江戸時代の排除されている人たちの物語ですが、もしかすると、現代社会の僕たちに見えていない、排除されている人たちの物語でもあるかもしれない。なので、現代と過去とどこか重なって見えると思えるような空間的な仕掛けを作りたいと思っています。もちろん基本的にト書きに書いてあることは守ります。守った上で、どう僕たちが遊べるかですね。

—— 美術は田中敏恵さんですね。田中さんといえば、部屋の中を忠実に再現するような非常に具象的な舞台美術を作る方だと思っのですが。

敏恵さんをはじめは「なんで私なの？」とびっくりされていました。敏恵さんは僕が好きで劇団ポッドールの美術をいつもされている方で、リアリズムの美術をつくらせたら右に出るものはいないと思うのですが、渋谷の街の片隅の『敦原検校』というアイディアが浮かんだとき「それなら美術は田中敏恵さんだ！」とお願いすることにしました。

僕の舞台は基本的に抽象舞台が多いのですが、その感覚と敏恵さんが持っておられるリアリズムの感覚の、双方のロジックが融合するとすごく面白い空間になるのではないかなと思っています。ただのリアリズムではない、舞台表現としてやる意味を一緒に作っていったらと思います。

—— 杉原さんは京都造形芸術大学（現・京都芸術大

学) 出身で、春秋座で四代目猿之助(第一回亀治郎の会のスタッフとして参加)さんと出会われていたのですよね。今回はその春秋座で四代目と現代劇と一緒にされるわけですが。

そのことを考えた時に、あぁ一周するんだなと思いました。僕が入学した年に劇場ができ、今度の春で20周年。入学・卒業して一周回ってきた感じでしょうか。今までに何度も春秋座で自作を上演させていただいていますが、今回はこれまでと少し違った感慨がやはりあります。猿之助さんとの御縁や劇場が20周年ということ、さらに2020年3月スーパー歌舞伎II『新版オグリ』南座公演が、コロナ禍の影響で上演できなかったこともあり、ようやく故郷に錦を飾れる、そういった思いがあります。

そして、卒業して色々な現場で仕事をし、経験を積んで、素晴らしい企画でまた母校に戻って来られたことが、後輩にとって良い刺激になるといいなと思います。僕の作品を春秋座で観て「なんだ、つまらないな、もっと面白いものを作ってやる！」って思う学生がいっぱい出てきて欲しい。そういう学生が未来にきつと面白い作品をつくってくれると思うので。もちろん、作品を面白いと思ってくれて、こういうことをやりたいと言ってくれるのはとても嬉しいし、ありがたいですが、何を隠そう僕自身が学生時代そうではなかった(笑)。先輩たちの芝居を観て「(なんだこれ)僕がやった方が面白い！」と思いつながらやってきた人間なので、でも、ただ否定するのではなくて、何がつまらないと感じたのか、きちんと言葉にできるところまで考えが及ばないと意味がないのですが。僕の作品に対して自

分ならこうやる！って思う学生がたくさん出てきてくれるほど嬉しいことはないですね。

—— コロナ禍で色々な公演が中止になり、春秋座も9月からようやく再開しました。杉原さんも公演を再開され、今、色々な思いがあると思いますが。

舞台の仕事をしていただけで公演ができることに心から感謝していますが、そこが最終目的になってはいけないなと思っています。やるからには今までやってきたことからさらにレベルアップし、最高に面白い舞台にしないと失礼ですから。それが僕たちの仕事です。本来の目的意識を見失わずに、きちんと作品をつくりたいと思っています。

自粛期間中には家に居ることになり、今まで非日常

だった日常時間を長く家で過ごすことになったことで、劇場という非日常空間にお客様は何を求めているのだろうかと考えたときに、「圧倒的な非日常」を求めているんじゃないかと思って。そういうことも全部ひっくるめて、とにかく良い作品をつくらうと、シンプルにそう思っています。

そして猿之助さんと出会った場所であり、卒業式もした母校の劇場での公演を本当に嬉しく楽しみにしています。観てくださったお客様の記憶に残る作品にしたいと思っています。まだ先の状況が見えない時ですが、劇場に来てくださったら圧倒的な非日常空間で皆様をお待ちしていますので、ぜひ楽しみにしてください。

【芸術監督 四代目市川猿之助より】



悪役は人物造形が複雑なほど役の作り甲斐があるので楽しみです。

コロナ禍で地方の公演が難しいですが今回、春秋座にて公演できることを嬉しく思います。

皆様のお越しを劇場でお待ちしております。

主演 市川猿之助に加え、三宅健、松雪泰子、川平慈英ほか、新たな『藪原検校』に豪華キャストで挑む。

杉原邦生さんにキャストの魅力を紹介してもらいました。

井上ひさしさんの戯曲は、言葉の力が強いので俳優さんによるところが大きいのですが、猿之助さんをはじめ面白いキャストが集まったので良い舞台になると思っています。

《四代目市川猿之助》

歌舞伎公演では何度も一緒にしていますがストリートプレイは初めてです。いつか自分の演出するストリートプレイに出ていただきたいという思いがあったのですが、こんなに早く実現するとは。ご本人は「僕は俳優単体で演出する時は演出家のいいなりになります」とおっしゃっていますが、半信半疑です（笑）。現場の雰囲気も歌舞伎の時とは違う感じになると思うので、楽しみでもあり予測不能なところもありますが、一緒にワイワイ言い合いながら、新しいものをつくっていったらと思っています。猿之助さんに演じていただく杉の市には、杉原の「杉」と市川の「市」が入っているんです。これってミラクルだと二人の運命も感じています。猿之助さんは今、もっとも勢いがあるってパワフルな歌舞伎俳優の一人。悪人を演じていても、その中

に人間の哀しさ、寂しさ、孤独も表現できる素晴らしい俳優さんですから、杉の市役はピッタリだなと思います。

《松雪泰子》

TVなどで拝見していると柔らかく繊細な印象を持ちますが、舞台上にたれると良い意味で逞しさ、力強さを感じる俳優さんです。演じていただくお市という役もしぶとく逞しく生き抜いていく人物なので、繊細かつ力強く、魅力的に演じてくださると思います。

《三宅健》

天性の華と美しさをお持ちで、舞台上に立った時に説得力がある方ですね。今回、6役を演じ分けていただくのですが、どう演じてくださるのか楽しみです。三宅健さんの俳優としての新しい姿を僕も一緒に見つけていけたら、嬉しいですね。

《川平慈英》

舞台に出てくるだけで舞台が明るく華やぐ、天性のエンターテイナーだなと感じています。今回、語り部となる盲太夫役を演じていただくのですが、盲太夫の語りで作品のテンポや雰囲気が決まると言っても過言ではないので、川平さんの語りによって今までにない『藪原検校』が生まれると思います。今から楽しみです。



《演出》

杉原邦生 すぎはら・くにお

演出家、舞台美術家。KUNIO 主宰 1982 年生まれ、東京都出身。KUNIO 主宰。京都造形芸術大学在籍中より演出家・舞台美術家として活動をはじめる。代表作は KUNIO 11『ハムレット』、木ノ下歌舞伎『勸進帳』『オイディプス REXXX』、スーパー歌舞伎 II『新版 オグリ』、『グリークス』『プレイタイム』など。第 36 回京都府文化賞奨励賞受賞。